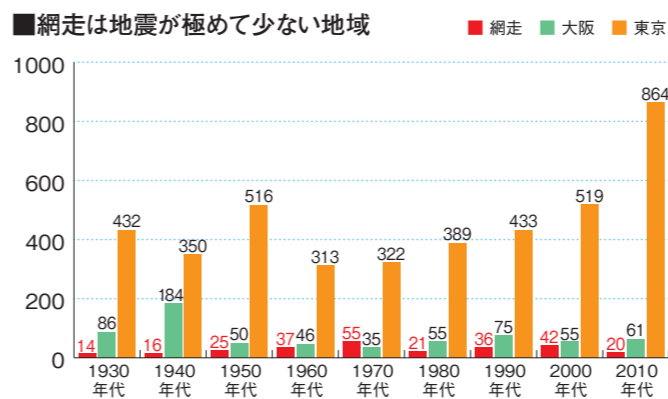
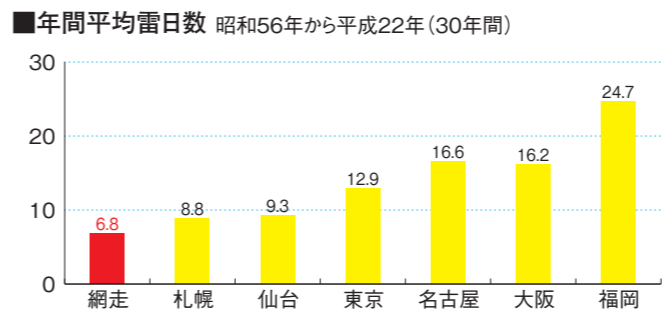


長期滞在にも安心 災害の少ない網走

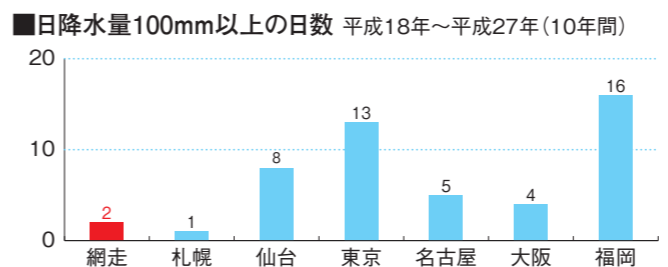
網走は、地震や台風など自然災害の発生が少なく、一年を通して晴天が多いうえ降水量・降雪量も少ないなど、住みやすさと過ごしやすさを備えています。



地震の発生回数では、2010年代が14回と東京の約60分の1で、雷の発生日数も、年平均6.8日で福岡の4分の1弱と、自然災害リスクの低い恵まれた地域といえます。



また、「地域防災計画」に基づく災害に強い防災体制づくりを進めるとともに、防災備蓄品や冬季停電対策用備品の整備、洪水・土砂災害、津波災害への



ザードマップ作成等にも取り組んでいます。さらに、地域防災力の向上を目指し、町内会を中心とした自主防災組織づくりや防災訓練の実施などに取り組んでいます。



少雨で晴天の多い気候を生かしたメガソーラー発電施設

将来に備えた ごみ減量化のしくみ

網走市では「ごみダイエット
のやさしいまち あばしり」を



網走市破砕・リサイクル施設

スローガンとする一般廃棄物処理基本計画を策定し、循環型社会の実現に向けたごみ処理を進めています。

この計画では、3つの基本方針として「一人ひとりがごみの量を減らしていこう!」「再利用・再生利用は、分別から!」「環境にやさしいごみ処理を!」を掲げ、市民・事業者・市の協働による取り組みによって循環型社会の実現を目指しています。また、かねてから建設を進めていた破砕・リサイクル施設と生ごみたい肥化施設が、平成29年度から供用を開始。これに伴い、新分別方式によるごみ回収で資源リサイクルをより一層進め、埋立量を減らしていきます。

暮らしの身近な声を まちづくりに生かす

網走市では、協働のまちづくりを市政の基本に掲げ、市長自らが市民との対話の場づくりに努めています。

その一つ「みんなの市長室」は、市長室を年4回開放し、市民が考えるまちづくりについて市長が直接話し合う場です。中学生以上の市民がグループ単位で参加し、市長と積極的に対話しています。

また、市民とまちづくりについて意見交換を行う網走市推進住民会議は、テーマを設けて各地区で開催する「まちづくりふれあい懇談会」と、市政の執行方針などを説明する「全体会



まちづくりふれあい懇談会

議」の2段階方式で開催しています。

こうした多くの市民の声が生かされた政策展開に生かされ、対話を通じてまちづくりの原動力となっています。

日本一の芝を ベストの状態に 使っていただくために。

網走地方芝生販売協同組合
グラウンドキーパー

佐藤 伸之さん



網走スポーツ・トレーニングフィールドのグラウンドキーパーを約18年担当しています。この施設は、合宿で網走を訪れるラグビートップリーグやJリーグのチームが利用する天然芝フィールドを備えており、私が担当する以前から「日本一の芝」と一流選手からも高く評価されています。それだけに、長年の信用を落とすわけにはいかないと、万全の構えで管理に当たっています。

いい芝の条件は、密度が均一で、雑草の混入が少なく、適度な柔らかさを保っていること。硬いとけがの原因になりかねません。ラグビー用の芝は長さ3cmで設定し、走りやすく、スクラム時にスパイクが絡む程度の長さをキープ。練習後に芝がめくれていたらすぐに直し、常にベストの状態を使ってもらえるようにしています。

天候や時間帯、季節によって芝のメンテナンス方法は毎日変わりますが、目指す水準はいつも同じ。「網走の芝は良くて当たり前」という評価を維持することは、やりがいであり、誇りだと思っています。

Disaster Prevention

Abashiri has a temperate climate with many sunny days throughout the year and little annual rainfall or other precipitation. It is a safe city with a low risk of natural disaster and where earthquakes are a rarity. Locals are working to make their communities more resilient to disasters through initiatives including the establishment of voluntary disaster prevention organizations consisting chiefly of neighborhood associations.

